

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 TEL:092-642-2106 FAX:092-642-2113 MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp URL:http://www.kyushu-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2010/10/13)

グラミン・雪国まいたけ合弁会社設立

∼九州大学のソーシャル・ビジネスの取り組みにより、グラミンと日本企業初の 合弁会社が設立~

概要

株式会社雪国まいたけ(東証二部上場)と国立大学法人九州大学は、2010年10月13日に グラミン銀行本店(バングラデシュ・ダッカ)においてグラミンファミリーの中核企業であるグラミン・クリシと合弁会社設立に関する契約を締結いたしました。

今回の合弁会社はグラミンと日本企業による初の合弁会社であり、農業分野では、グラミンと海外企業との世界初の合弁会社になります。

今回の合弁会社設立にあたって、九州大学は、合弁会社の経営・オペレーションに関して、ソーシャル・ビジネスの観点から広く、経営に関する助言や九州大学の国際産学官ネットワークを利用したサポートを行い、実践を踏まえたソーシャル・ビジネスの学術的研究、教育に広く役立てていくことを目指します。

なお、調印式が行われた10月13日は、2006年にムハマド・ユヌス教授のノーベル平和賞受賞が決定した日であり、この記念すべき日に、九州大学の取り組みにより、ソーシャル・ビジネスの新たな展開がスタートしました。

■内 容

株式会社雪国まいたけ(東証二部上場)と国立大学法人九州大学は、2010年10月13日にグラミン銀行本店(バングラデシュ・ダッカ)において、グラミンファミリーの中核企業であるグラミン・クリシと合弁会社設立に関する契約を締結いたしました。

本契約は、グラミン銀行創設者・総裁ムハマド・ユヌス氏(九州大学栄誉教授)、雪国まいたけ代表取締役社長大平喜信氏および九州大学特任教授岡田昌治氏の出席のもと、三者間で調印が行われました。 社名は、「グラミン・雪国まいたけ(Grameen YUKIGUNI MAITAKE CO., LTD.)」で資本金は 10 万米ドル。出資額はグラミン・クリシが 2 万 5 千米ドル、株式会社雪国まいたけが 7 万 5 千米ドルです。

業務執行役員は、グラミングループおよび株式会社雪国まいたけから選定するとともに、経営・オペレーションを適正に進めるため、社外取締役として九州大学の教員が就任予定です。

本合弁会社は、グラミン銀行と日本企業による初の合弁会社であり、農業分野のソーシャル・ビジネスをバングラデシュで展開することを目的とした世界初の海外企業との合弁会社です。

第一段階としてモヤシの種子である緑豆をダッカの北方 350 kmにある Rungpur にて播種します。すでに8ha規模の実験栽培を開始することが決定しており、実験栽培に成功すれば、来年以降は500~1,000haの農地で、本格的栽培を開始する予定です。

これにより約700~800名の農民に栽培を委託し、種子の選別作業で約100名の雇用が発生します。 収穫した種子の7割は、株式会社雪国まいたけが合弁会社から購入し、日本へ輸出し販売する予定です。 残りの3割は同国の農民に低価格で販売される予定です。また合弁会社の利益は全て、バングラデシュ のソーシャル・ビジネスの推進や貧困層の農民の福祉や奨学金等に活用されることが決定しています。

現在、緑豆はほぼ 100%中国より輸入されており、輸入先の分散化により我が国の供給リスクが解消されます。また中国産緑豆は価格も過去3年間で3倍近く上昇しており、安価で安定的な供給は日本にとっても大きな利益となります。あわせて日本企業の管理下において栽培されるので、農薬汚染や土壌汚染等のリスクが排除されることとなります。

九州大学としては、今回の合弁会社の経営・オペレーションに関して、ソーシャル・ビジネスの観点から広く、経営に関する助言や九州大学の国際産学官ネットワークを利用したサポートを行い、実践を踏まえたソーシャル・ビジネスの学術的研究、教育に広く役立て行くことを目指していきます。

■九州大学のソーシャル・ビジネスへの取り組み

これまで、九州大学は、2007年にグラミン・コミュニケーションズと交流協定を締結し、その後、バングラデシュでグラミン銀行が行うマイクロクレジットの電子化のための実証実験を行っています。また 2010年3月に、ムハマド・ユヌス氏が提唱するソーシャル・ビジネスを日本において普及、推進するため、学内にグラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学(GCL®九州大学)を設立しました。さらに 2009年に、グラミンファミリーと九州大学がグラミン・テクノロジー・ラボ(GTL)設立のための覚書を交換しているほか、2010年7月には、GCL®九大がコーディネートし、ユヌス教授が来日し、数々のシンポジウムを企画すると共に福岡をアジアのソーシャル・ビジネスの拠点とする共同声明「ソーシャル・ビジネス。ハブ・イン・アジア」を行うなど、ユヌス教授が提唱するソーシャル・ビジネスの日本における拠点となっています。

■関連 URL(グラミン・クリエイティブ・ラボ WEB サイト):

http://imaq.kyushu-u.ac.jp/~gcl/japanese/index.html

【お問い合わせ】

九州大学広報室 深堀

TEL:092-642-2106, FAX:092-642-2113

Email:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp